



本号の主な内容

- 2面 【学会の目・眼・芽】第4回 武内和彦氏
- 2、3面 協会表彰受賞者一覧 平成21年度事業計画
- 3面 【論説】今日の糧を得るために取り組むべき3つの課題
- 4面 【協会だより】東北総支部、沖縄総支部
【緑滴】この頃思う事／緑のデザイン賞／【事務局の動き】



総会の冒頭、挨拶する佐藤四郎会長

平成21年度

通常総会を開催

6議案を審議・承認

平成21年度通常総会を6月22日、東京・千代田区平河町のル・ボーラ麹町で開催し、平成21年度事業計画・収支予算など、6議案を審議・承認。初の「業界実践スローガン21決議」を実施し、時代の主役産業を目指すこととした。

- 法令の遵守と企業としての社会的責任を果たす、活動を徹底しようとアピールし「分離発注」の拡大を図ろう
- 適正価格での受注を推進し、高品質な成果と安全な職場環境に努めよう確固たる企業経営に努めよう
- 将来を担う技術者・技能者の確保・育成と業界の地位向上に努めよう
- 地球環境にやさしい造園工事として低炭素社会づくりに貢献しよう

専務理事を選任した。報告では、日化技術開発機構が行つた要

任され、報告では、日化技術開発機構が行つた要

高木剪定作業等の安全確保
対策を推進するとともに、
安全の手引きの改訂を行う。
会員への安全啓発活動の
一環として、安全週間、労
働衛生週間の周知・啓発の
ためのポスターを作成し配
布する。

6. 技術情報の蓄積と提供
各種造園関連技術の蓄積
と共に会員間での情報共有
を行うための「技術情報共
有発表会」を開催する。

(社)日本造園学会との包括協
定に基づき、協力して造園・
環境分野においてより高い
次元からの社会貢献、人材

育成に努める。
7. 伝統技術の承継
造園の伝統技術、技能継
承のための研修会開催等を
企画する。

**第5 関係行政庁その他関
係機関への政策提言、建議、
要望等**

1. 国土交通省、環境省
等と意見交換を行う。

2. 緑に関連する税制の
改正要望を行う。

3. 造園業活性化のため
の活動に積極的に対応する。

4. 造園工事業として
「造園工事は造園工事業に」

1. 資格認定
①登録造園基幹技能者(社)
日本造園組合連合会と共に
②街路樹剪定士・街路樹
剪定士指導員
③植栽基盤診断士・植栽
基盤診断士補(修了認定)

2. 認定試験
①街路樹剪定士認定試験
②造園技術者認定試験

3. 研修・講習会
①登録造園基幹技能者講
習・特例講習
②街路樹剪定士研修会及
び資格更新研修会
③植栽基盤診断・地盤調
査実技研修会
④植栽基盤診断士補研修会
⑤造園技術講習会の開催

4. 造園CPD(継続教育)
①造園CPD協議会構成
②制度の活用
③团体として制度の普及と会
員の募集を行つ。

5. 第47回技能五輪全国
(茨城)大会への参加
運営委員・競技委員を派遣
する。また、第40回技能五
輪国際大会(カナダ・カル
ガリー)の造園職種に日本
が参加することを受け、若
年層や市民へ造園のものづ
くりのすばらしさや興味の
喚起に努める。

6. 総支部・支部開催の
講習会等へ講師を派遣する。

7. 第40回技能五輪全国
大会への参加
運営委員・競技委員を派遣
する。また、第40回技能五
輪国際大会(カナダ・カル
ガリー)の造園職種に日本
が参加することを受け、若
年層や市民へ造園のものづ
くりのすばらしさや興味の
喚起に努める。

8. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

9. 全員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

10. 図書の刊行
①植栽基盤整備・調査の
本公園施設業協会(社)日本
植木協会、(社)日本造園組合
連合会、(社)ランドスケープ
コンサルタント協会、(社)日
本造園建設業協会(社)日本
振興会の構成団体(社)日本
本公園施設業協会(社)日本
植木協会、(社)日本造園組合
連合会、(社)ランドスケープ
コンサルタント協会、(社)日
本造園建設業協会(社)日本
振興会の活動

11. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

12. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

13. 優良建設功労賞等の表彰
緑化事業の推進並びに業
界の発展に著しい業績等が
あつた者に対し、表彰規程
に基づき、会長が表彰する。

14. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

15. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

16. 表彰及び顕彰への推薦
全国高等学校造園教育研究
協議会等で展示

17. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

18. 機関紙の発行
8. 機関紙の発行
おける都市緑化功労者表彰、
優秀施工者国土交通大臣顕
彰等候補者の推薦を行う。
9. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

19. 広報日造協を毎月発行し、会
員に最新の情報等を提供す
るとともに関係官公署等に
造園建設業の活動等を知つ
ていただきために広く配付
する。

20. 目先の否「今日の糧を得
る」ための仕事づくりは、
意外と近いところに種はある
こと。業界として一致結束
した声を上げる業団体活動
立ちした業種となつたこと
によつて、独自の、自分た
ちの責任において、道を切
り開かねばならなくなつた
のです。アピールしたこと
が実現するまで、手を抜け
ないものである。

21. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

という原則のもと「環境の
世紀」における主役産業を
目指して、臨機応変に必要
な豊富活動を展開する。

**第6 造園技術者及び技能
者の養成、資格の認定並び
に研究会・講習会等の開催**

1. 資格認定
①登録造園基幹技能者(社)
日本造園組合連合会と共に
②街路樹剪定士・街路樹
剪定士指導員
③植栽基盤診断士・植栽
基盤診断士補(修了認定)

2. 認定試験
①街路樹剪定士認定試験
②造園技術者認定試験

3. 研修・講習会
①登録造園基幹技能者講
習・特例講習
②街路樹剪定士研修会及
び資格更新研修会
③植栽基盤診断・地盤調
査実技研修会
④植栽基盤診断士補研修会
⑤造園技術講習会の開催

4. 造園CPD(継続教育)
①造園CPD協議会構成
②制度の活用
③団体として制度の普及と会
員の募集を行つ。

5. 第47回技能五輪全国
(茨城)大会への参加
運営委員・競技委員を派遣
する。また、第40回技能五
輪国際大会(カナダ・カル
ガリー)の造園職種に日本
が参加することを受け、若
年層や市民へ造園のものづ
くりのすばらしさや興味の
喚起に努める。

6. 総支部・支部開催の
講習会等へ講師を派遣する。

7. 第40回技能五輪全国
大会への参加
運営委員・競技委員を派遣
する。また、第40回技能五
輪国際大会(カナダ・カル
ガリー)の造園職種に日本
が参加することを受け、若
年層や市民へ造園のものづ
くりのすばらしさや興味の
喚起に努める。

8. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

9. 全員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

10. 図書の刊行
①植栽基盤整備・調査の
本公園施設業協会(社)日本
植木協会、(社)日本造園組合
連合会、(社)ランドスケープ
コンサルタント協会、(社)日
本造園建設業協会(社)日本
振興会の活動

11. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

12. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

13. 優良建設功労賞等の表彰
緑化事業の推進並びに業
界の発展に著しい業績等が
あつた者に対し、表彰規程
に基づき、会長が表彰する。

14. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

15. 第36回全国造園デザ
インコンクールの実施
若手造園人やこれから造
園分野に進もうとする学生
のデザインと設計技術の向
上を図るため、(社)ランドス
ケープコンサルタント協会、
全国高等学校造園教育研究
協議会との共催で実施する。

16. 表彰及び顕彰への推薦
全国高等学校造園教育研究
協議会等で展示

17. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

18. 機関紙の発行
8. 機関紙の発行
おける都市緑化功労者表彰、
優秀施工者国土交通大臣顕
彰等候補者の推薦を行う。
9. 会員名簿の発行
会員並びに関係官公署等に
配付する。

19. 広報日造協を毎月発行し、会
員に最新の情報等を提供す
るとともに関係官公署等に
造園建設業の活動等を知つ
ていただきために広く配付
する。

20. 目先の否「今日の糧を得
る」ための仕事づくりは、
意外と近いところに種はある
こと。業界として一致結束
した声を上げる業団体活動
立ちした業種となつたこと
によつて、独自の、自分た
ちの責任において、道を切
り開かねばならなくなつた
のです。アピールしたこと
が実現するまで、手を抜け
ないものである。

21. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

22. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

23. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

24. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

25. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

26. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

27. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

28. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

29. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

30. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

31. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

32. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

33. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

34. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

35. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

36. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

37. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

38. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

39. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

40. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

41. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

42. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

43. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

44. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

45. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

46. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

47. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

48. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

49. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

50. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

51. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

52. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

53. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

54. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

55. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

56. それとともに忘れてなら
ないことは、造園工事業と
しての連帯と協調の精神
としての連帯と協調の精神
の下、「叩き合ひ」ではなく
「争い合ひ」でなく

